

(様式4)

令和3年度 南関東・東京ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

「コロナ禍での保健師活動を振り返る！～保健師の人材育成と人材確保～」

2. 目的

新型コロナウイルス感染症対策を実施している中で、保健活動の人材確保及び人材育成の取組について、さまざまな自治体の対応について情報共有する。そして、今後の健康危機管理における管理期の保健師の役割について改めて考える。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	7月17日(土) 13:30～14:45	オンライン(ZOOM)	【第1回ブロック支部長会議】出席9名 (1)令和2年度全国保健師長会南関東・東京ブロック活動報告 (2)全国保健師長会理事会報告 (3)令和3年度全国保健師長会南関東・東京ブロック活動計画 (4)令和3年度全国保健師長会南関東・東京ブロック研修会について
2	10月23日(土) 13:00～16:00	ハイブリッド方式 ・神奈川県総合医療会館(支部長・理事・講師・実践報告者等は会議室) ・参加者はオンライン(ZOOM)で研修	【ブロック研修会】参加者194名 (1)全国保健師長会本部役員による報告 (2)実践報告者3人による報告 東京都 村井 やす子氏 神奈川県 津島 志津子氏 さいたま市 清水 雅子氏 (3)講演「保健師の人材育成と人材確保～コロナ禍での保健活動を経験して」 千葉大学 宮崎美砂子教授
3	10月23日(土) 11:00～11:45 16:20～17:05	ハイブリッド方式 ・神奈川県総合医療会館 ・オンライン(ZOOM)	【第2回ブロック支部長会議】出席10名 (1)各支部活動の情報交換 (2)令和3年度全国保健師長会南関東・東京ブロック研修会の準備等 (3)全国保健師長会理事会第2回理事会の報告 (4)令和3年度全国保健師長会南関東・東京ブロック研修会の振り返り

4. 結果・課題

・新型コロナウイルス感染症患者の発生が多く、第1回支部長会議は対面会議が困難なため、初めてオンラインで意見交換を実施した。

・新型コロナウイルス感染症の第5波が終了して間もない時期に研修会を実施することができた。講師・実践報告者・支部長・理事等は会場で感染対策を実施しながら集合し、参加者はオンラインで参加するなどハイブリッド方式で開催した。

- ・多くの研修参加者からは、タイムリーな内容で今後につなげていける研修であったとのことがあった。
- ・研修参加者からは、オンラインの開催は好評であった。今後の研修会についても、内容によってはオンラインの開催を検討することが必要と感じた。

5. 支部活動の特徴

- ・4都県5市の9支部で構成されており、新型コロナウイルス感染症患者が多い地域である。
- ・ブロック支部長会議で各支部の活動等の情報交換を実施した中で、コロナの影響で支部活動を、予定どおり実施できない等苦慮している支部やオンライン等活用するなど対面以外の方法で活動する支部もあった。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○理事	金高 久美子	神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター保健福祉課
理事	木内 恵美	文京区保健衛生部 健康推進課
埼玉県	朝倉 真由美	埼玉県保健医療部 保健医療政策課
さいたま市	星野 由美子	さいたま市保健所
千葉県	池田 紀子	千葉県松戸保健所
千葉市	阿部 裕子	千葉市保健福祉局 保健福祉総務課
東京都	山科 美絵	東京都多摩立川保健所企画調整課
東京都特別区	木内 恵美	文京区保健衛生部 健康推進課
神奈川県	磯崎 夫美子	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター 保健福祉課
川崎市	村山 智子	川崎市総務企画局人事部職員厚生課
横浜市	岩松 美樹	横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課
責任者○印		